



自閉特性を規定する生物学的特徴の抽出

牧之段 学

Manabu Makinodan

精神医学／博士研究員

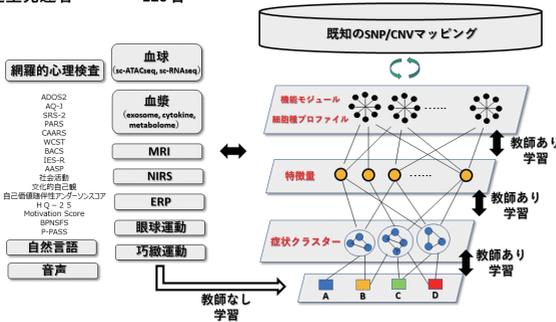
- **キーワード** 自閉スペクトラム症、バイオマーカー、心理検査
- **対象疾患** 自閉スペクトラム症

臨床

シーズ概要

自閉スペクトラム症は、コミュニケーション障害などの対人関係の障害や過剰なこだわり、感覚過敏、PTSD 症状といった多彩な症状を呈す症候群だが、近年その有病率は増加しており、病態解明や治療法開発は喫緊の課題である。我々は知的障害を伴わない高機能自閉スペクトラム症者の多階層データ（心理検査、頭部 MRI、NIRS、ERP、眼球運動、巧緻運動、ゲノム、エピゲノム、プロテオーム、メタボローム、音声など）を取得し、自閉特性との相関を解析している。

自閉スペクトラム症 280名
定型発達者 120名



研究成果の応用可能性

自閉特性は自閉スペクトラム症者のみならず、様々な精神疾患に罹患する方々に併存しやすく、精神疾患の難治性に関わる。また、精神疾患に罹患していなくとも自閉特性が困り事につながることも多く、自閉特性の生物学的特徴を明らかにすることは、精神疾患の克服やメンタルヘルス増進につながる。

Appeal Point

アピールポイント

自閉特性のみならず、心理特性全般を説明する生物学的マーカーの探索が可能。

複数企業との共同研究が進行中。

関連文献／特許

- 1.Yamauchi et al, Autism Res, 14:2330-2341,2021
- 2.Kitamura et al, Autism Res, 14:1886-1895,2021
- 3.Matsuoka et al, Cereb Cortex, 30,5617-5625, 2020